



WWF

REPORT

IDN

2013

# Palming Off a National Park 国立公園での アブラヤシ違法 栽培

WWFインドネシア  
イルワン・グナワン



REPORT

IDN

2013

## Palming Off a National Park

Tracking Illegal Oil Palm Fruit in Riau, Sumatra



Riau, Sumatra, Indonesia 2013



WWF

REPORT

IDN

2013

# outline

- WWFはなぜ国立公園からのアブラヤシ果房を調査しているのか
- どのように、そしていつ、調査は実施されたのか
- 調査により明らかになったこと
- WWFによる活動と、政府・企業の対応
- 次にとるべき手法
- 日本のパーム油購入企業がインドネシアの残り少ない森林を守るためにできること





WWF

REPORT

IDN

2013



# 違法パーム油調査の背景

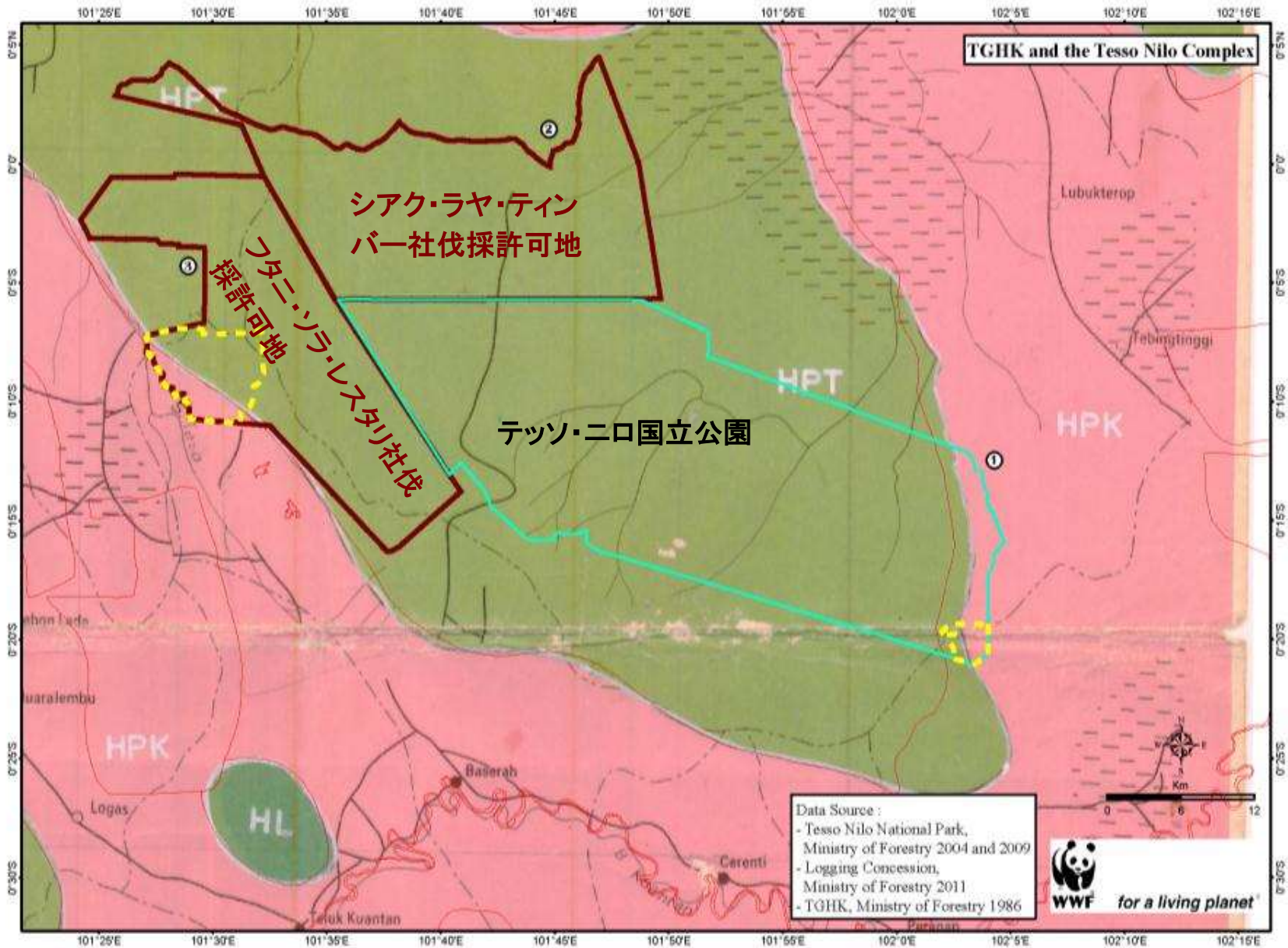


WWF

REPORT

IDN

2013





WWF

REPORT

IDN

2013



# 調査の期間と方法



REPORT

IDN

2013

調査は2011年2月から2012年4月にかけて実施された

WWFリアウ森林犯罪班は、テツソ・ニロ国立公園とシアク・ラヤ・ティンバー社、フタニ・ソラ・レスタリ社の伐採許可地内部で違法に栽培されたアブラヤシ果房の管理の連鎖(CoC)について以下の通り調査した(これら3区域をまとめて本報告では「テツソ・ニロ森林地帯」と呼ぶ)。

- 実地調査、そして違法アブラヤシがある場所の座標確認
- 確かな証拠とするため、位置情報タグ付きの写真やビデオ撮影
- 関係者への匿名インタビュー
- 空間的解析
- 法的分析





WWF

REPORT

IDN

2013





WWF

REPORT

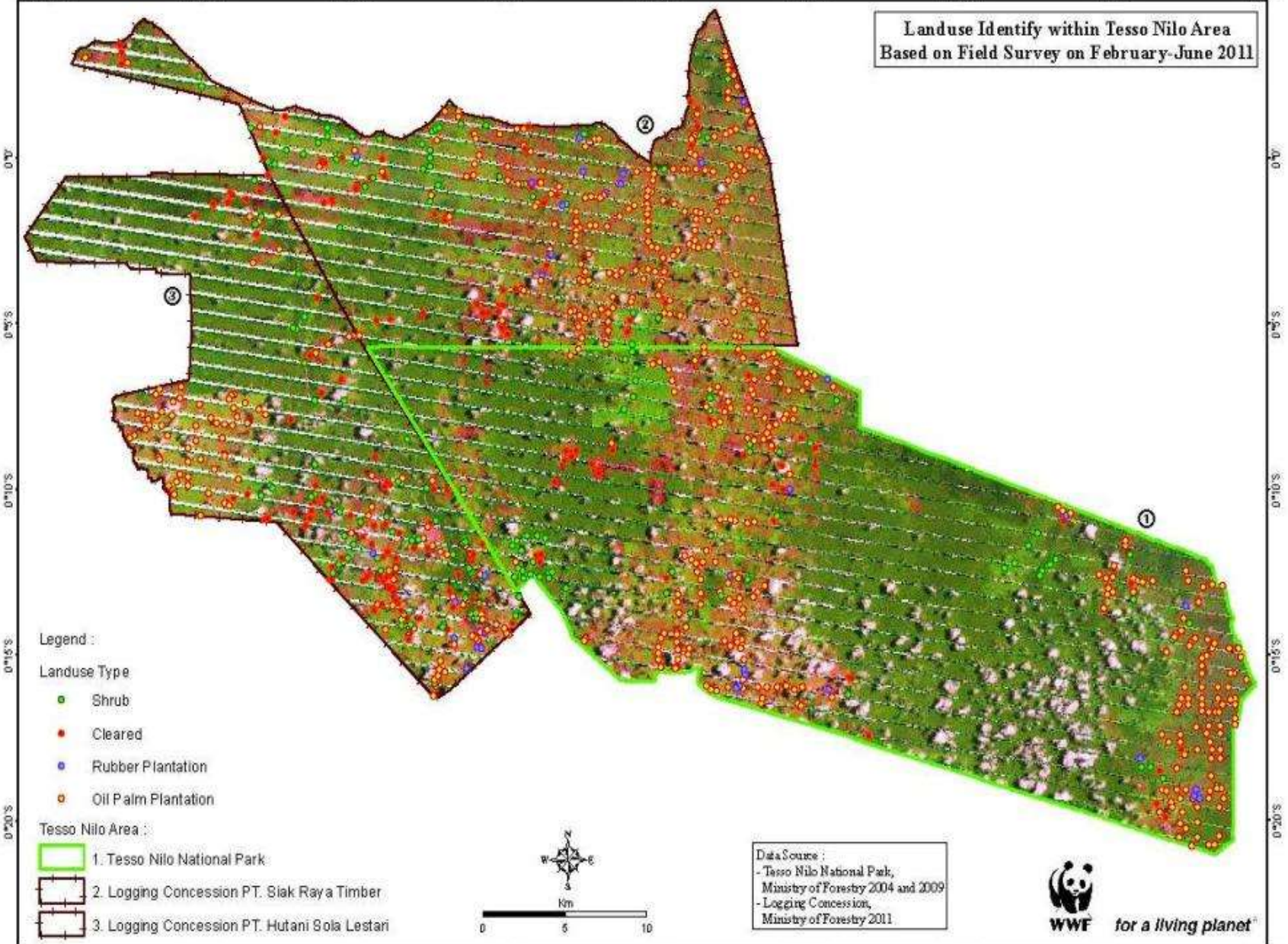
IDN

2013



101°25'E 101°30'E 101°35'E 101°40'E 101°45'E 101°50'E 101°55'E 102°0'E 102°5'E

Landuse Identify within Tesso Nilo Area  
Based on Field Survey on February-June 2011



Legend :

Landuse Type

- Shrub
- Cleared
- Rubber Plantation
- Oil Palm Plantation

Tesso Nilo Area :

- 1. Tesso Nilo National Park
- 2. Logging Concession PT. Siak Raya Timber
- 3. Logging Concession PT. Hutani Sola Lestari

Data Source :

- Tesso Nilo National Park, Ministry of Forestry 2004 and 2009
- Logging Concession, Ministry of Forestry 2011



WWF for a living planet

101°25'E 101°30'E 101°35'E 101°40'E 101°45'E 101°50'E 101°55'E 102°0'E 102°5'E





WWF

REPORT

IDN

2013



# 調査の結果



WWF

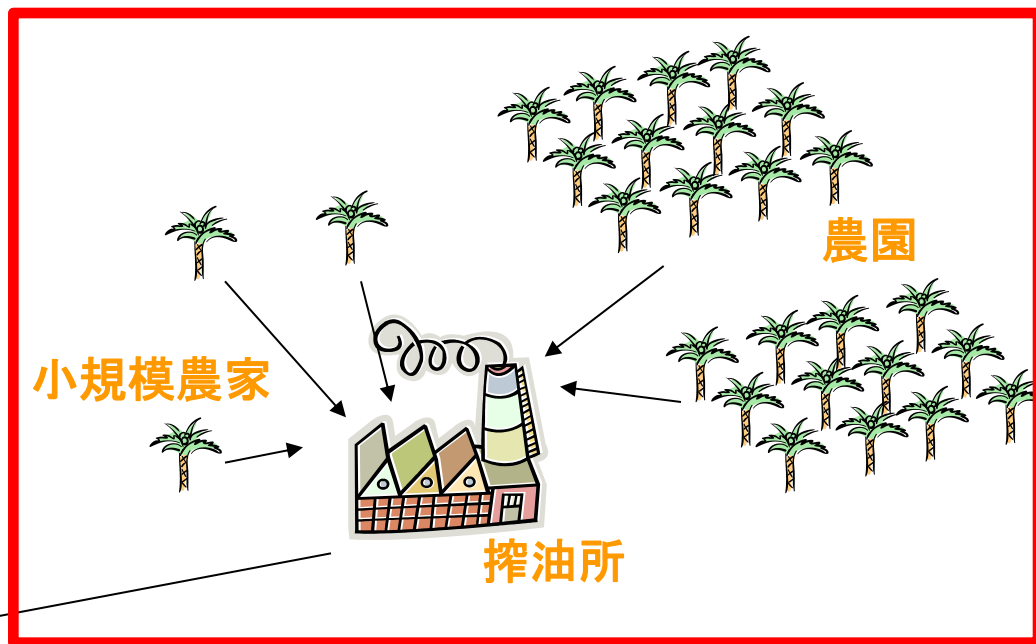
REPORT

IDN

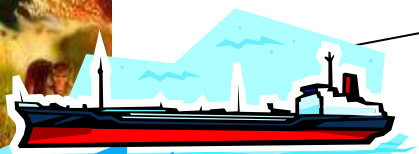
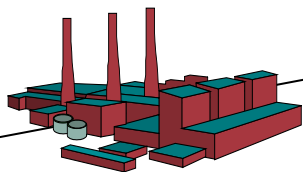
2013

# パーム油サプライチェーン

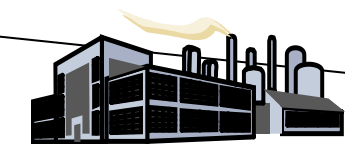
様々な場所を經由  
農家から搾油所で  
混ざる可能性



精製・加工業者

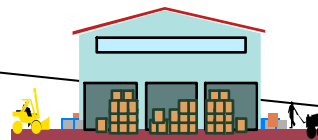


運搬



原材料製造業者

商品製造業者



小売業者



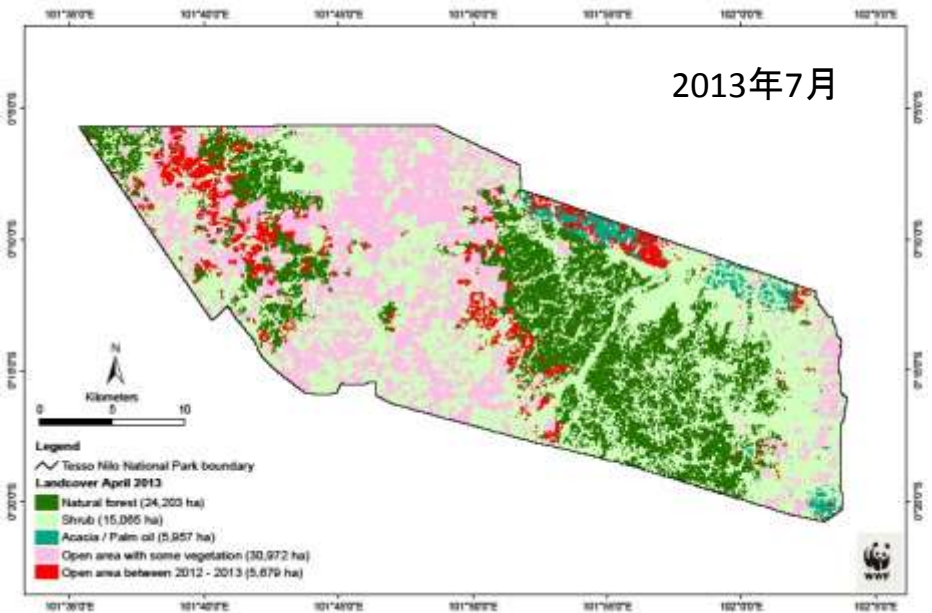
WWFの調査によると、2011年までにテツソ・ニロ森林地帯の52,266.5haが既に違法占有されている。70% (36,353ha) がアブラヤシ農園に転換され、うち15,819 haにおいてアブラヤシ果房が生産されている

テツソ・ニロ森林地帯における違法占有と土地利用

No	面積 (ha)	2011年2月～6月調査による テツソ・ニロ森林地帯における違法占有地と土地利用 (ha)					合計
		アブラヤシ	ゴム	その他	伐採済／栽培準備済	灌木／低木	
1	フタニ・ソラ・レスタリ社 伐採許可地 45,990	5,644.5	85	65	1,978	1,733	9,505.5
2	シアク・ラヤ・ティンバー社 伐採許可地 38,560	14,995	580	-	2,699	3,030	21,304
3	テツソ・ニロ国立公園 83,068	15,714	328	34	1,535	3,846	21,457
合計 167,618		36,353.5	993	99	6,212	8,609	52,266.5

データ出展: WWFインドネシアによる2011年2月～6月調査の結果より

直近のテツソ・ニロの状況はとても切迫している。2013年7月のランドサット衛星画像によると、**テツソ・ニロ国立公園内の自然林は約24,000 ha (29%)**しか残っていない。





REPORT

IDN

2013

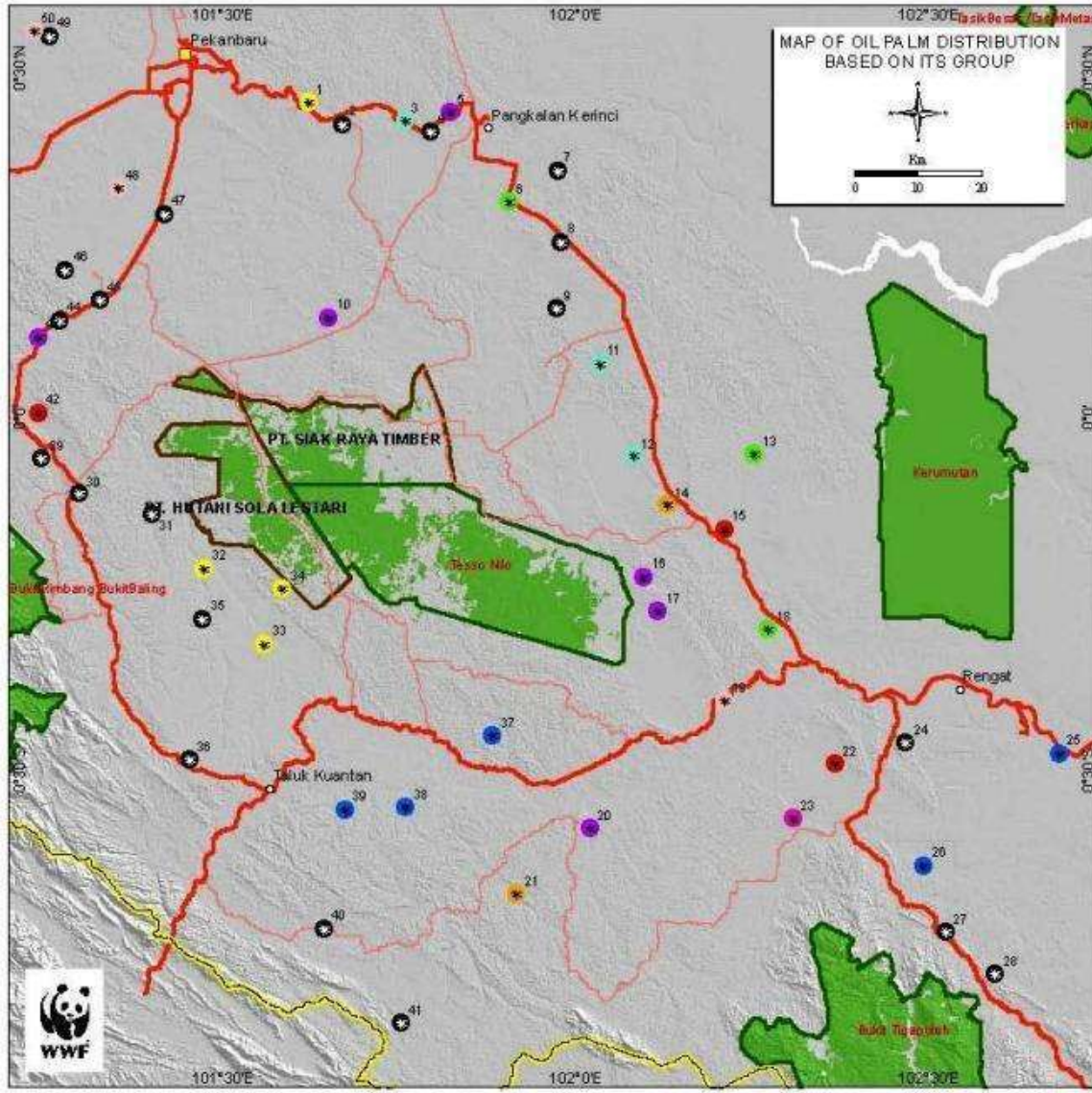


# テツソ・ニロ森林地帯における、違法アブラヤシ農園の所有者、樹齢/生産性

データ: WWFインドネシア実地調査 (2011年2月~6月)

No	所有者	総面積		未成熟農園		成熟農園	
		数	ha	数	ha	数	ha
<b>フタニ・ソラ・レスタリ社伐採許可地</b>							
1	個人	81	2,278.5	62	1,648.5	19	630.0
2	自己資本によるグループ	2*	313.0	2	139.0	1	174.0
3	企業の支援を受けているとされるグループ	1*	3,053.0	1	389.0	1	2,664.0
小計		84	5,644.5	65	2,176.5	21	3,468.0
<b>シアク・ラヤ・ティンバー社伐採許可地</b>							
1	個人	223	12,995.0	128	7,435.0	95	5,560.0
2	自己資本によるグループ	4	2,000.0	2	1,050.0	2	950.0
小計		227	14,995.0	130	8,485.0	97	6,510.0
<b>テツソ・ニロ国立公園</b>							
1	個人	220	11,024.0	160	8,733.0	60	2,291.0
2	自己資本によるグループ	9	2,820.0	4	990.0	5	1,830.0
3	企業の支援を受けているとされるグループ	1*	1,870.0	1	150.0	1	1,720.0
小計		230	15,714.0	165	9,873.0	66	5,841.0
合計		541	36,353.5	360	20,784.5	184	15,819.0

# テツ・ニロ国立公園やその他の保護区内で違法に栽培された アブラヤシ果房を購入している可能性のある企業



**MAP OF OIL PALM DISTRIBUTION BASED ON ITS GROUP**

<ul style="list-style-type: none"> <li>● Wilmar Grup</li> <li>1, PT. Sinar Siak Dian Pemail</li> <li>32,33,34, PT. Citra Riau Sarana I, II, III</li> <li>● Ganda Grup</li> <li>15, PT. Gandaerah Hendana</li> <li>22, PT. Ineoda</li> <li>40, PT. Ganda Buanindo</li> <li>● Asian Agri Grup</li> <li>5, PT. Inti Indosawit Subur</li> <li>10, PT. Mitra Unggul Pusaka</li> <li>18, PT. Inti Indosawit Subur</li> <li>17, PT. Inti Indosawit Subur</li> <li>20, PT. Regunas Agri Utama</li> <li>43, PT. Karya Indorata Persada</li> <li>● Sinarmas Grup</li> <li>23, PT. Buana Wira Lestari Mas</li> <li>● Musimas Grup</li> <li>3, PT. Sinar Agro Raya</li> <li>11, PT. Musim Mas</li> <li>12, PT. Musim Mas II</li> <li>● Duta Palma Grup</li> <li>25, PT. Banyu Bening Utama</li> <li>28, PT. Kenoana Amal Tani</li> <li>37, PT. Wana Jingga Timur</li> <li>38, PT. Cerani Subur</li> <li>39, PT. Duta Palma Nusantara</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Astra Grup</li> <li>6, PT. Langgam Inti Hybrido</li> <li>13, PT. Sari Lembah Subur</li> <li>18, PT. Tunggul Perkasa Plantion</li> <li>● Indofood Sukses Makmur Grup</li> <li>14, PT. Senikat Putra</li> <li>21, PT. Indri Plant.</li> <li>● PTPN Grup</li> <li>19, PT. Perkebunan Nusantara V</li> <li>48, PT. PNV Sei. Pagar</li> <li>50, PT. PNV Sei. Galuh</li> <li>● No Information</li> <li>2, PT. Multi Palma Sejahtera</li> <li>4, PT. Jalur Pusaka</li> <li>7, PT. Adei Plantation</li> <li>8, PT. Sumber Sawit Sejahtera</li> <li>9, PT. Surya Bratasena</li> <li>24, PT. Talang Jenjing Sawit</li> <li>27, PT. Nikmat Halona Reksa</li> <li>28, PT. Nirmala Abadi Damai</li> <li>29, PT. Kebun Pantai Raja</li> <li>30, PT. Mustika Agro Sari</li> <li>31, PT. Surya Agrolika Reksa</li> <li>35, PT. Wanasari Nusantara</li> <li>36, PT. Asla Makmur Sawit Jaya</li> <li>40, PT. Tribaldi Sari Mas</li> <li>41, PT. Tribaldi Sari Mas</li> <li>42, PT. Flora Mahana Tirta</li> <li>45, PT. Bina Sawit Nusantara</li> <li>46, PT. Serastisidi Amagra</li> <li>47, PT. Bangun Tenara Riau</li> <li>49, PT. Inti Karya Plasma Perkasa</li> </ul>
---	--

**Legend**

- Capital of District
- Provincial Capital
- Province Boundary
- Main Road
- Local Road
- ▭ Logging Concession
- ▭ Conservation Area
- ▭ Forest Cover 2006

**Data Source :**  
 1. Oil Palm MIE - Field Survey 2011, WWF Indonesia  
 2. Conservation Area and Logging Concession, Ministry of Forestry 2011  
 3. Forest Cover 2008, WWF Indonesia





WWF

REPORT

IDN

2013

Lubuk Batu Tinggal村とアシアン・アグリグループのインティ・インドサウイット・スブル社がKKPA制度を利用してテッソ・ニロ国立公園内に開発した合法性に疑問のあるアブラヤシ農園。GPS座標: 南緯0°20′45.72″・東経 102°3′32.28″。2011年10月6日撮影。© WWF Indonesia.



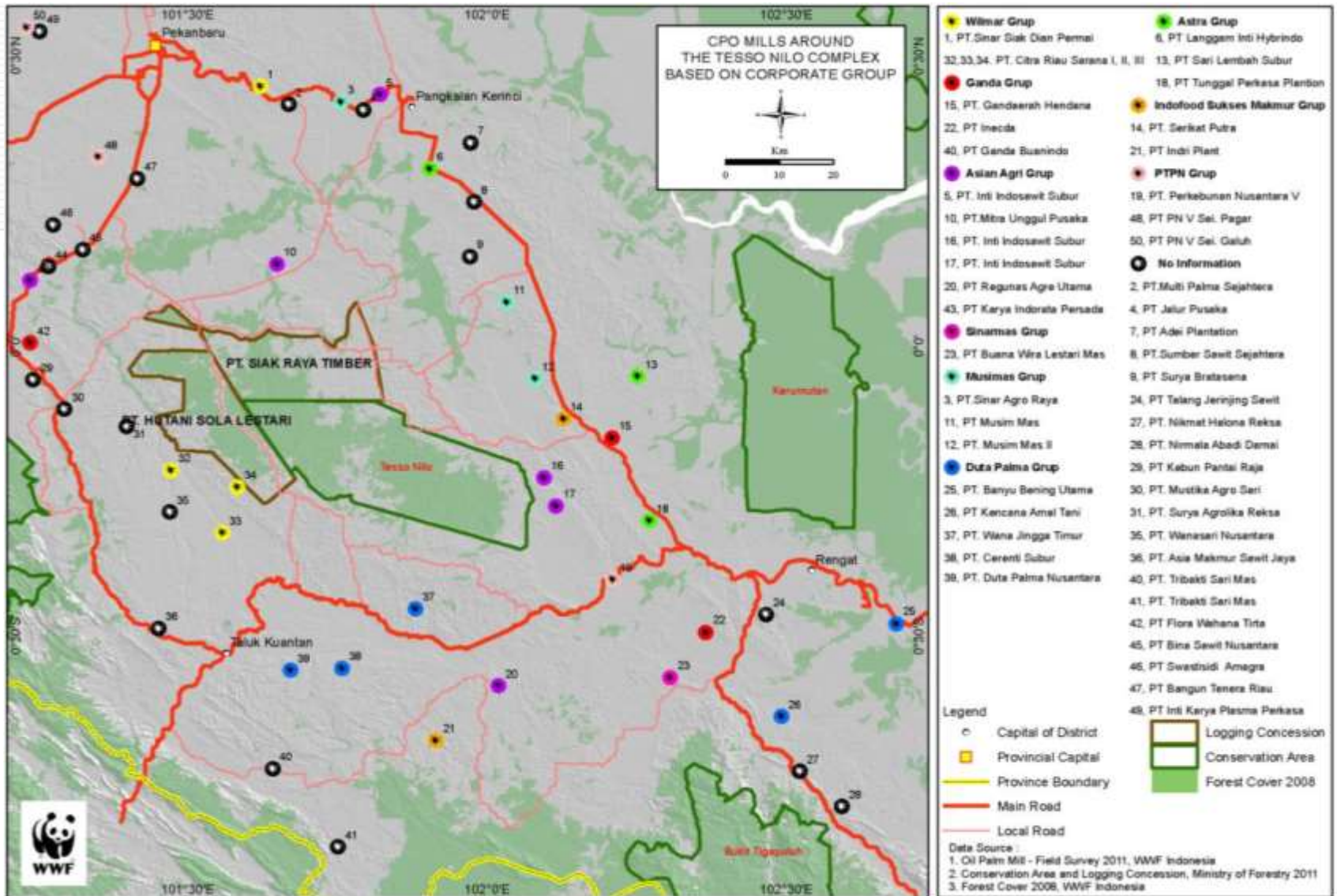


REPORT

IDN

2013

# テツ・ニロ森林地帯周辺にある企業グループに関連した搾油所



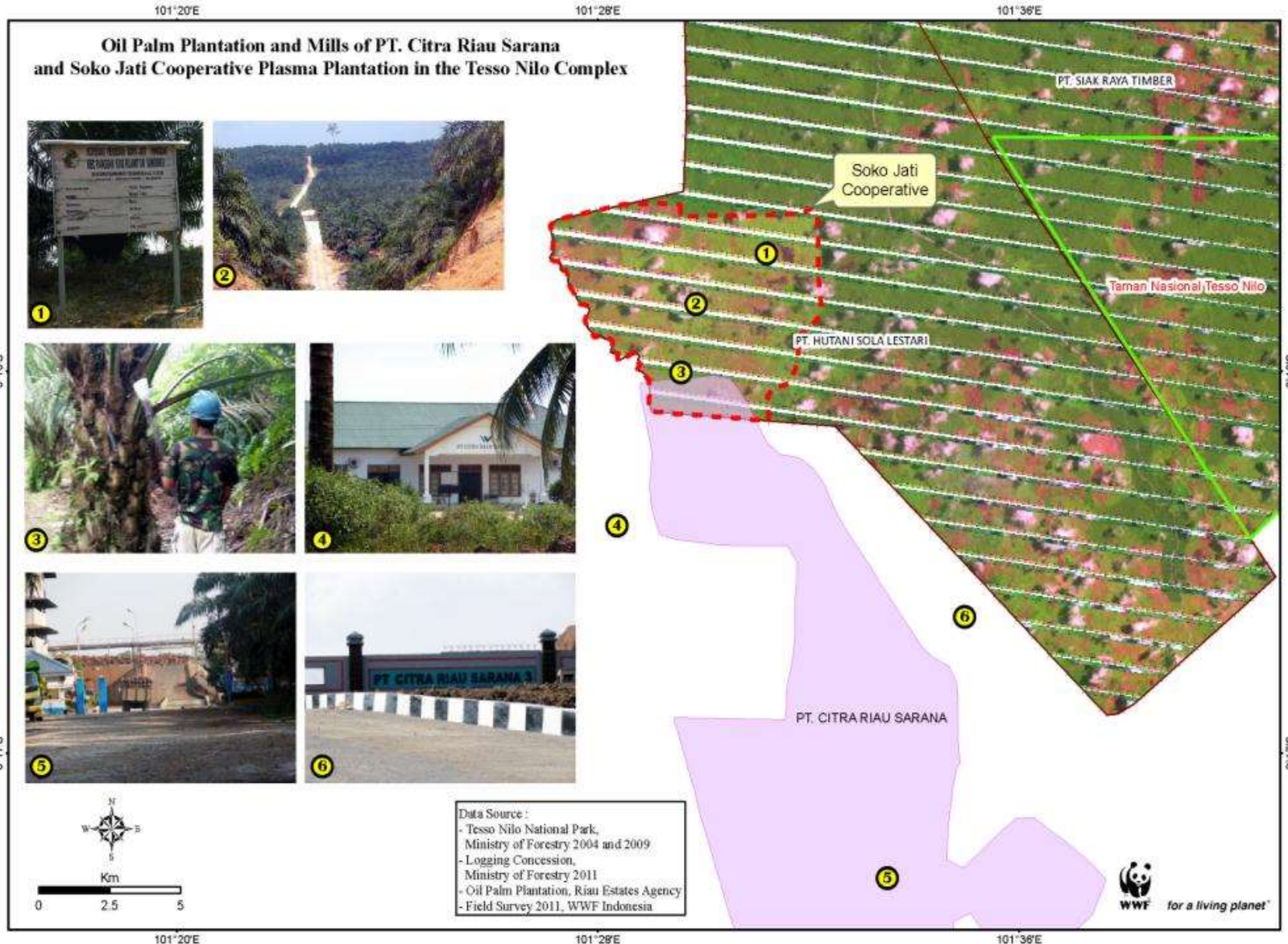


REPORT

IDN

2013

# テッソ・ニロ森林地帯の西にあるウィルマーグループのシトラ・リアウ・サラナ社 第1、第2、第3搾油工場と、フタニ・ソラ・レスタリ社伐採許可地内でシトラ・リアウ・サラナ社が出資・運営するSoko Jati協同組合の違法なアブラヤシ農園。







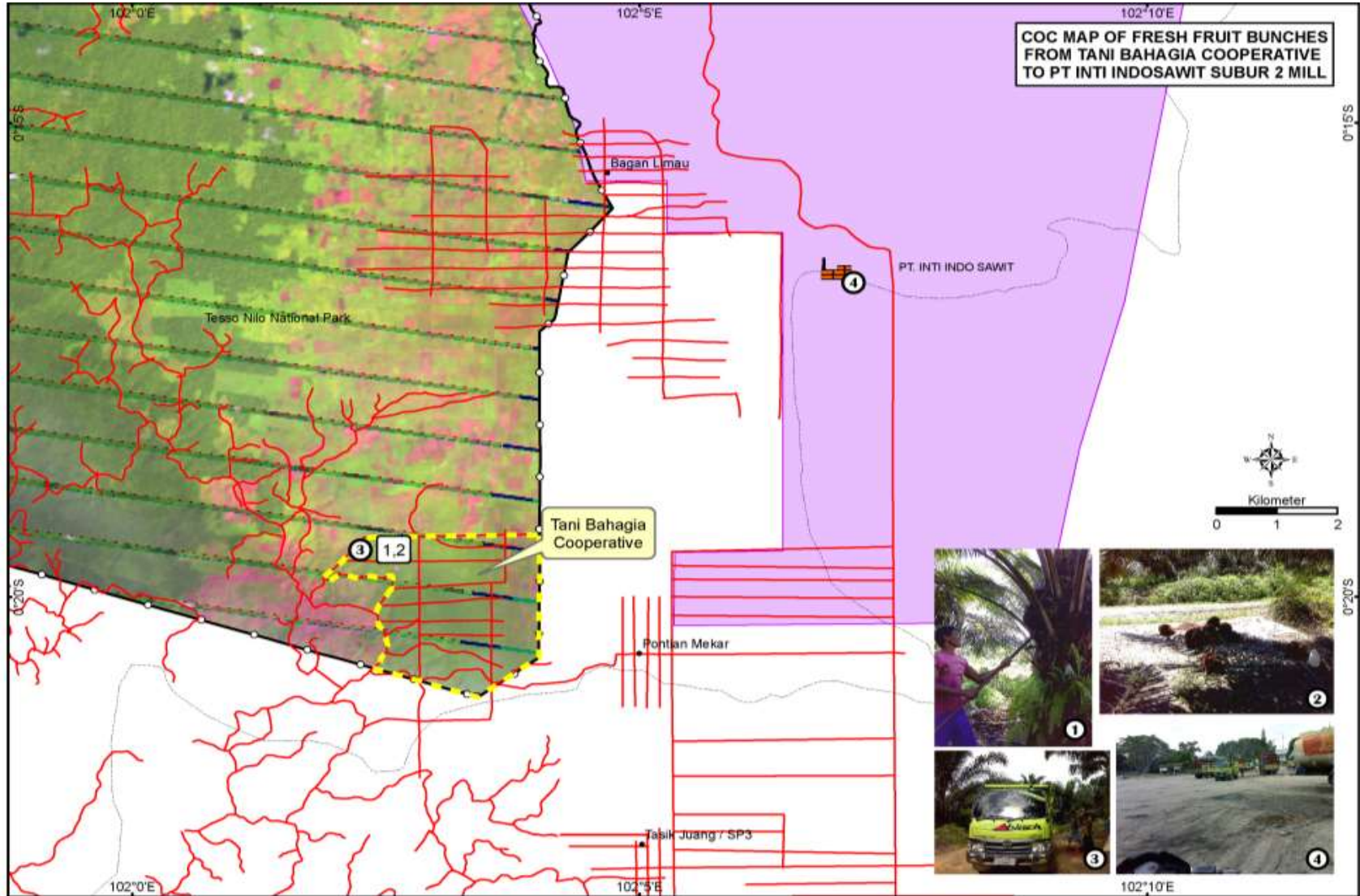
WWF

REPORT

IDN

2013

テッソ・ニロ国立公園の東にあるアジアン・アグリグループのインティ・インド差ウィット・スブル社第2工場の3つの搾油工場と、テッソ・ニロ国立公園内でインティ・インド差ウィット・スブル社が出資・運営するTani Bahagia協同組合のアブラヤシ農園。





WWF

REPORT

IDN

2013



# WWFによる活動と 政府・企業の対応



WWF

REPORT

IDN

2013

2012年初め、WWFはウィルマー社、アシアン・アグリ社との個別会合において報告書草稿を提出し、説明を求めた。

WWFインドネシアは、2012年11月5日に報告書の草稿を林業省宛に送付し、状況を報告した。

2013年2月、テツソ・ニロ国立公園の境界エリアに設置された像保護センターの竣工式において、林業大臣は、違法占有者の立ち退きに取り組み、違法占有問題に対処するために財政支援を行うことを発表した。





WWF

REPORT

IDN

2013

アジアン・アグリ社は原料供給者に対し、法的要件を満たさない果房の買い入れを拒否することを公にした。アジアン・アグリ社の搾油工場があるプラワン県の議員は、今後テツソ・ニロ森林地帯で採れた果房を受け入れないという同社の決定に失望を表明した。この発言は、アジアン・アグリ社、原料供給者、各村の代表、協同組合、自然資源保全局、県当局およびWWFが出席した2度の公聴会においてのものである。プラワン県議会の議員らがWWFインドネシアの事務所を訪れた際にも、同様の意見が表明された。



ウィルマー社は、2012年11月に企業グループ全体で、違法に栽培された果房を購入しないことを発表した。ウィルマー社は2013年1月18日にWWFと会談し、果房が「森林地 (Forest Estate: 自然林被覆の有無を問わず、林業省が管理する土地のこと)」で収穫されたものではないことを確認していると述べた。





# 次に取り組むべき手法



# リアウ州のアブラヤシ農園に関わるプロジェクトと戦略

プロジェクト1: エコシステムに基づく土地利用計画を提案し、土地利用計画のための地域規制の発行を促進する

プロジェクト2: パーム油企業がRSPOメンバーになること、RSPO認証を取得を促進する

プロジェクト3: 人と動物の衝突緩和策において保護価値の高い森林(HCVF)と最適管理手法(BMPs)の実施を促進する(ターゲット:企業)

プロジェクト4: 森林をアブラヤシ農園に転換する違法占有者に対する法律を実行する

プロジェクト5: パーム油購入企業への働きかけ

戦略1: 地域空間計画の強化を通じた政策介入(ターゲット:政府)

戦略2: 持続可能なアブラヤシ農園に対する認証(ターゲット:企業と小規模農家)

戦略3: 保護価値の高い森林と最適管理手法により、森林破壊を止め、人間との衝突による野生生物の死亡率を下げる  
例)ゾウ機動部隊技術、野生生物との衝突回避/緩和記述などの導入

戦略4: 法の執行

戦略5: アブラヤシ果房管理システムを実行し、違法なアブラヤシ果房の購入を止める





# まとめ

アブラヤシ農園開発は  
森林破壊、生物多様性の喪失、衝突を引き起こす

アブラヤシ農園開発は  
泥炭の排水・分解、温室効果ガスの排出を引き起こす

そして、一部のアブラヤシ農園開発は、違法である



違法にそして/または非持続可能にリアウ州で生産されたアブラヤシ果房は  
リアウ州で生産される大半のパーム原油に「混入」していると思われる。  
「混入」パーム原油は大半の精製業者や輸出用へと流れていくと思われる。



# 有り難う御座います

南テツソ・ニロの生息地のゾウの群れ  
リンバ・プラナプ・インダのアカシア植林地にて

